

Wi-Fi センサーでデジタル OOH の広告視認数を計測する 実証実験を開始

株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高木 智広 以下、LIVE BOARD）は、自社保有メディアで Wi-Fi センサーを利用した広告視認数の計測を開始します。

本実証実験では、対象の自社保有メディアの広告視認数をデジタルサイネージに設置された Wi-Fi センサー^{※1}でローカルセンシングデータを収集し、解析を実施することでデジタル OOH 広告の視認数を計測します。

1. 実証実験場所

本実証実験の対象となる自社保有メディアは以下の 1 箇所です。

- ・サントクビル (<https://liveboard.co.jp/screen/000853.html>)

LIVE BOARD は、デジタル OOH の新たな価値創造に取り組むとともに、来訪者への効果的な広告配信の実現を推進していきます。

※1 デジタルサイネージに設置された Wi-Fi センサーにおいては、匿名化された情報のみをサーバへ送信しております。また、来訪者のプライバシーに十分配慮しながら利便性を高めるために、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアムが策定した、「センシングサイネージガイドライン」、および IoT 推進コンソーシアム、総務省、経済産業省による「カメラ画像利活用ガイドブック Ver.2.0」に準拠した運用を行います。

◆LIVE BOARD 全国のスクリーン

現在、全国に 64,500 以上の配信面を運用。自社で設置したスクリーンだけでなく、他社との連携も日々拡大中です。

URL：<https://liveboard.co.jp/screen>

◆株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する

デジタル OOH アドネットワークオペレーター

Live Board

OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）[※]に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車

内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS=Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数（OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数（VAC）を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 高木 智広
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階

営業開始日・創立日	2019年2月1日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>
LIVE BOARD 広報事務局 担当：加藤
TEL : 090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail : info_press@liveboard.co.jp